

吉祥寺の杜

宮本小路公園の計画を

進めています

吉祥寺東町1丁目地域は、公園など公共の緑が少なく、また、市内でも人口密度が高く、商業施設も多数あることから、防災・安全面からもオープンスペースの確保が必要でした。

市では、宮本小路が五日市街道にぶつかる角の民有地約1720㎡を取得し、既存樹木を十分活かした公園にすることをしました。公園の基本プランを検討するため、平成24年7月から市民によるワークショップを進めてきました。

ワークショップは公募の市民21名でスタートし、「計画地のイメージを語ろう」「現地を見てみよう」など毎回テーマを設けて意見交換を行い、「子どもたちがのびのび遊べる場に」「地域活動で活用できるように」など、利用者として、また地域住民

基本方針

安全・安心な場、マナーを守る

地域コミュニティの場

災害に備える

緑を楽しむ

TOPICS 01

第1回

平成24年7月5日
計画地のイメージを語ろう!

計画地である吉祥寺東町周辺の歴史や環境をおさらいし、公園のイメージやどんな利用をしたいかなどについて話し合いました。



第2回

8月25日
現地を見てみよう!

アドバイザーの解説を受けながら現地の状況を視察。その後感想や整備などの課題について意見交換を行いました。



第3回 10月10日 計画地のプランをつくろう! その1



これまでの意見をもとに、3つのグループに分かれて計画地の具体的なプランを検討。また、公園の名称の候補を決めました。

第4回 11月21日 計画地のプランをつくろう! その2



前回まとめた3グループそれぞれのプランについてディスカッションを行い、具体的な課題を出し合いました。

第5回



12月19日
計画地のプランのまとめ

3つのプランをもとに集約した基本プランの案を提示し、ワークショップの成果としてまとめました。

※平成25年2月15日～28日 パブリックコメント(意見公募)を実施

第6回 平成25年3月13日 ワークショップ報告会

ワークショップとパブリックコメントを踏まえた市の基本プランを参加者に報告するとともに、開園後の運営活動について意見交換を行いました。(基本プランは市ホームページに掲載)

としての視点からさまざまな意見が交わされました。これらの意見を組み込み、パブリックコメント（意見公募）を経て、緑を楽しむ交流の杜をコンセプトに「吉祥寺のみどり・歴史・文化の発信地となる公園をめざす」という基本プランがまとまりました。市民の憩いの場となる快適な公園として、平成26年4月の開園を目指し、整備計画を進めています。



秋

かえつし
楓の辻からは雑木林や竹林の風情あふれる眺めを一望。秋は紅葉で賑やかに

公園完成イメージ図



春

しいつし
椎の辻には原っぱと野草エリアが広がる。春は桜も咲き、お花見も楽しめます



竹林やシダレザクラなど、長い歳月を経て大木となった木々をそのまま公園の一部として活用します。



吉祥寺の杜 宮本小路公園
公園面積 0.17ha(1719.01㎡)
所在地 吉祥寺東町1丁目17番地内
(吉祥寺駅より徒歩7分)

緑のまち推進課
☎0422-60-1864



夏

原っぱと竹林、大木の杜が広がる桜の辻。夏は青々と美しい緑に彩られる



しのはらみよへい
名誉市民 篠原三代平氏 逝去

武蔵野市の名誉市民(平成19年推挙)である篠原三代平氏が昨年12月7日、93歳で逝去されました。

篠原氏は、経済学分野において、綿密な統計データに基づく実証的研究で国際的に知られています。日本経済の成長と景気循環などの研究で多大な業績を挙げられるとともに、明治以降の国民所得推計でも重要な

役割を果たされました。理論・計量経済学会会長、日本銀行参与、総理府統計審議会会長など多くの要職を務め、経済学と経済政策とのパイプ役として尽力し、政府の政策決定に貢献されました。平成10年に文化功労者、平成18年に文化勲章を受章されました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。